

長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 延長にあたり議論いただきたい箇所

目標	現状と解決すべき課題	基本的方向	施策分野・施策
<p>目標1 産業が芽吹き伸びゆく、「しごとづくり」と「ひとづくり」の実現 ～しごとの創出と確保～</p>	<p>若い世代の人口流出を防ぎ、東京圏からの「ひと」の流れをつくるとともに、若い世代が安心して結婚や子育てに向き合うためには、生活の基盤となる「しごと」が確保されることが極めて重要となります。 本市は、県庁所在地として官公署はじめ様々な業種の本支店が立地するなど、長野県の政治、経済の中心的な役割を担っています。産業別では、卸売業・小売業、医療・福祉などのサービス業が盛んである一方、売上高では、電子部品、食品加工、印刷などを含む製造業、建設業、金融・保険業も上位に入っています。 市街地周辺の農地では寒暖の差と日照時間の長さを活かした果樹栽培が盛んであり、また、市の中心部から車で30分ほどでスキー場や高原など豊かな自然環境と触れ合うことができます。さらに、東京と新幹線で約1時間半で結ばれているという立地条件から、多様な働き方に対応できるポテンシャルを有しています。 そこで、こうした本市の特性を活かし、安心して働ける産業の育成と創出による魅力ある「しごとづくり」を進めるとともに、次代を担い未来を切り拓く人材を育成し、「しごと」と「ひと」を結びつけます。</p>	<p>○創業や新製品・新技術の開発、地域特性を活かした新たな特産品づくりや販路開拓など産業の成長支援に産学金官の連携により取り組みます。 ○地域への経済波及効果の高い産業や将来の発展が見込まれるICT関連産業などの都市型産業の誘致をはじめとする企業の立地促進に取り組み、地域経済を支える産業の集積を進めます。 ○地域の産業を支える担い手の育成を進め、就労支援など「ひと」と「しごと」を結びつける事業に取り組みます。</p>	<p>(1)市内企業の競争力強化と起業・創業・企業立地による雇用の創出 ① 分野・業種の垣根を越えた連携による産業の育成 ② 地域資源を活用した起業・創業支援の推進 ③ 魅力的な産業集積に向けた誘致の強化 (2)みのり豊かな「ながの」の農林業の魅力向上 ① 農業の収益性の向上 ② 農業の多様な担い手づくり ③ 森林資源の活用パッケージの創出 (3)求職者としごとのマッチング支援の充実 ① 若い世代の人材確保と就職支援 ② 多様な市民が活躍する雇用の促進</p>
<p>目標2 魅力高め、ひとを惹きつける、ふるさと「ながの」の実現 ～移住・定住・交流の促進～</p>	<p>若い世代の地元志向を高め地域への定着と東京圏からの還流を促すには、「ふるさと」への愛着を高める必要があります。 そこで、児童・生徒をはじめ若い世代に多様なライフスタイルを実現できる本市の魅力伝え、学びと仕事の環境を整えることで地元への定着を促すとともに、市外で様々な経験やスキルを積んだ若者が、未来に夢を抱いて地元に戻り、暮らしを営む「ふるさと」を創ります。 本市は、善光寺、松代、戸隠などの豊富な観光資源に恵まれ、北陸新幹線の金沢延伸により、観光交流の一層の拡大が期待されます。 文化芸術においては、長野市美術館を拠点とした新たな気運が高まっており、オリンピックレガシーを引き継ぎ盛り上がりを見せるスポーツと共に感動とにぎわいを与え、多くの「ひと」を呼び込んでいます。 そこで、これらの強みを人口増加に結びつけるため、「ながの」ブランドを磨き上げ発信していくことにより、「ながのファン」であるリピーターを増やし、交流を深めることで第2の「ふるさと」として移住・定住へつなげていくことを目指します。</p>	<p>○若い世代のふるさと志向や愛着を高め、長野市への定着を促進します。 ○地方回帰の高まりを捉え、移住に関する情報を積極的に発信し、移住希望者の受入れを推進します。 ○長野市の様々な地域資源を観光に結びつけ、新たな価値を創造することで、訪れたいまちづくりを推進します。 ○北陸新幹線延伸と首都圏へのアクセスを活かした広域観光・インバウンドを推進します。 ○文化芸術・スポーツがもつ感動や喜びで、にぎわいや活力を創出します。</p>	<p>(1)若い世代が「ながの」に根づく新しい流れの創出 ① 若い世代の地域への愛着の醸成 ② 若い世代の地元定着の促進 ③ 若い世代のふるさと回帰の促進 (2)「ながの」スタイルで魅了する移住・定住の促進 ① 戦略的な情報の発信と相談体制の整備 ② 移住希望者の視点に立った「ながの」ならではの受入体制の整備 (3)アドバンテージを最大限活かした交流人口の増加 ① 「ながの」に宿る豊富な地域資源を活かした観光振興 ② 新たな観光市場を切り拓く広域観光・インバウンドの推進 ③ 交流を創出し感動を呼び起こす文化芸術・スポーツの振興</p>
<p>目標3 「ながの」で結ばれ、はぐくみ、育つ、若い世代の想いの実現 ～少子化対策・子育て支援～</p>	<p>「市民意識アンケート」では、理想とする子どもの数より実際の子どもの数が少ない状況となっており、理想と現実のギャップを解消することで、出生率が向上し、人口の自然減の抑制につながると考えられます。 豊かな自然や体験活動の機会に恵まれた本市の子育て環境を更に充実させ、若い世代が安心して未来を担う世代を産み、育て、子どもたちがいきいきと学び希望を持って成長できる社会をつくる必要があります。 そこで、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての想いをかなえるため、ライフステージに応じた切れ目のない支援と働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、子どもたちの希望の実現を目指し、豊かな教育環境づくりを進めます。</p>	<p>○結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援と働きながら子育てしやすい環境づくりを進め、子どもを持ちたいという若い世代の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てることができる社会を実現します。 ○魅力ある教育を推進し、長野市で住み続けたいと思える豊かな教育環境づくりを進めます。</p>	<p>(1)結婚の希望をかなえるための環境整備 ① 結婚に向けた自分磨きの機会の充実 ② 若い世代の結婚を応援する市民ボランティアの養成 (2)妊娠・出産・子育てに対する不安感や負担感の軽減 ① きめ細かい子育て情報の発信と相談支援 ② ライフステージに応じた経済的支援 (3)働きながら子育てしやすい環境整備 ① 多様なニーズに応じた預かり支援 ② 仕事と子育ての両立支援 (4)魅力ある教育の推進と教育環境の充実 ① 幼保小中高の連携・一貫教育の推進 ② 学びを支える家庭・地域との連携の推進</p>
<p>目標4 あふれる「宝」を活かし、安心して住み続けたいまちの実現 ～住みやすい地域づくり～</p>	<p>本市は、合併により市域を拡大してきた経緯があり、善光寺の門前町として栄えてきた中心市街地から、美しいふるさとの原風景が残る中山間地域まで、特性の異なる地域で構成されています。 それぞれの地域には、伝統・文化やそこに縁(ゆかり)のある「ひと」や「もの」、「情報」といった今まで十分に発信・活用されていない隠れた資源が眠っています。空き家や遊休農地の増加が見込まれるとともに、市域の約7割を占める中山間地域には、豊かな自然環境などに由来する多様な資源が存在しており、それらのストックを活用した地域の活性化に取り組みます。 また、人口が減少していく中で地域で安心して暮らしを継続していくためには、地域の活力や住み続けるために必要な機能が維持されている必要があります。細分化、多様化する地域課題の解決には、行政だけではなく事業者やNPO、市民が知恵を出し合い、共通の方向に向かいながら、それぞれが主体的に行う取組を盛んにしていくことが有効です。</p>	<p>○人口が減少していく中においても、それぞれの地域に住み続けるために必要な暮らしを支える機能を確保します。 ○地域住民やNPO等の主体的な活動による地域の実情に合わせたきめ細かな手法による地域課題解決や活性化への取組を支援します。 ○地域の資源を見出し活用・発信することで、資源・経済の地域内循環を促進し、地域の活力を高めます。</p>	<p>(1)暮らし続けられる地域の形成 ① 暮らしの安心と安全を守り続ける支援の充実 ② 生活機能の拠点化と地域間を結ぶ交通ネットワークの確保 (2)多様な主体の連携・協働による地域課題の解決の仕組みづくり ① 市民が主役の地域づくりの推進 ② 地区を単位とした活性化の取組への支援 ③ 地域活動「ずく」出し人材の育成 (3)「そこでこそ生きる」資源による地域づくりの推進 ① 空き家など地域に眠るストックの活用推進 ② 中山間地域ならではの資源活用による地域活性化 (1)自治体間連携による相乗効果の発揮 ① 自治体間連携施策の推進</p>